

第3回 番組審議会議事録

1. 開催日 令和7年8月22日 午後6時から
2. 開催場所 FM 大師スタジオ 川崎市川崎区東門前 1-13-7
3. 委員出席 委員総数 5名 出席委員数 4名
出席委員の氏名 座長 石渡 茂
石川弘行、小野沢 豪、渡邊嘉行
森 明弘（急遽出席できず、コメントのみ）
放送事業者側出席者名
代表取締役 清水 暁
取締役局長 清水 成美

4. 議題

① 令和7年7月31日(水)

11時放送番組『毎日街角レディオ』内容の審議について

② 2月に聴取者からの指摘の内容説明と、対策状況についての報告

- ・言葉遣いがぞんざいである
- ・ネットの情報を読んでいるだけ
- ・まったく個人的な話をしている
- ・流している音楽が、洋楽ばかり

5. 議事の概要

① 令和7年7月31日(水) 11時放送番組『毎日街角レディオ』の内容について

- ・加盟店さんのCMもあり、曲も聴いていてすごく懐かしく思う。
- ・古めの曲が良いと思うし、全体的に曲の選択は良い。
- ・普段から聞いているが、話の内容も地域の情報で、良い。
- ・特段、悪い点は思いつかない。聴いていて、耳障りではない。
- ・他のラジオ局より、耳障りではない。聞き心地が良い。
- ・聴いていると、今日の一日の流れなどもわかり、高齢の方には内容的にちょうど良い。
- ・認知をしてもらえるのなら、カフェや、お店で流すのはどうか。
たとえば、リラックスするために、ジャズだけとかをかけるのはどうか、
- ・昼や2時、3時に聴いている世代に合わせ、ニューミュージックや映画音楽を流すとか、午後子供のお休み時間に（保育園）に合わせた曲を考えていくのも、良いのでは。
- ・今週は〇〇保育園の音楽セレクションになっています、などと言ったものや、街の店のご主人が、選んだ曲を流すなど。ユーザーセレクションなどリスナーの参加型もあるのではないかと。
- ・学生の放送クラブとの連携など、要望があれば、繋げることは可能。
- ・話す内容が、ネタ不足になるのではないかと、心配しているが、

普段から聴いていると色々情報を交えているのは、わかる。

- ・町名などは、地域に根差した通称としての読み方に統一するべきだ。
- ・災害時には、情報の入手手段は、多い方が良いので、スマホに防災ネットのアプリをいれることなどを、放送してもらいたい。アプリでは、避難路が出るので、それは、それで、見やすいと感じるし。
- ・他 FM 局のパーソナリティは特徴として声の魅力が圧倒的であり、また感情の表し方、伝え方が上手く声のトーンやなど飽きさせない魅力が詰まっているので、そういった点も、改善されると良い。むしろ FM 大師のパーソナリティは、親しみやすい声質であると感じている。
- ・今回の放送は、津波警報関連、気象の事を話されていましたが、専門的な内容はどうしても声の起伏が少なくなり、データや説明などを淡々と読み上げる様な感じになってしまっていたと感じている。飽きさせない工夫があっても良いのでは。

⇒今回は、ラジオがかかっている状態の評価、意見が多かった。

情報を伝えていくという使命を考えると、物足りないが、聴いてもらえるという状況を用意することも大切なことと感じた。

② 2月に聴取者からの指摘の内容説明と、対策状況についての報告

具体的な指摘内容

- ・言葉遣いがぞんざいである
- ・ネットの情報を読んでいるだけ
- ・まったく個人的な話をしている
- ・流している音楽が、洋楽ばかり

上記、指摘内容を説明し、局内で会議を開催した旨、報告した。

その他内容については、

- ・放送の時に、言い間違いなどが、あった場合などは、どうしているのか。

⇒言い間違える前に、調べることを、それでも間違った場合は、その事実が判明した時点で速やかに訂正するよう徹底していることを、伝えた。

6. 審議機関の答申又意見の概要の公表

第3回番組審議会の概要は FM 大師のホームページで公表する。